

THR Series

THR30II Wireless

TAK MATSUMOTO

Authorized by VERMLLION

リファレンスマニュアル



目次

はじめに	2
特長	2
同梱品 (お確かめください)	2
各部の名称と機能	3
コントロールパネル	3
リアパネル	6
接続	7
接続例	7
電源	8
ギターとワイヤレス接続する	9
スマートデバイスと接続して使う	10
コンピューターと接続して使う	12
困ったときは?	14
仕様	16
技術仕様	16
電源ボタン LED 状態一覧	17
シグナルフローチャート	18
アンプモデリング一覧	19
TAK MATSUMOTO 監修 プリセットセッティング一覧	21

はじめに

このたびは、ヤマハTHR30II Wireless TAK MATSUMOTOをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、ギタリスト松本孝弘氏がデザインとサウンドを監修したシグネチャーモデルです。松本氏愛用の歴代アンプをモデリングし、エフェクトも新たに追加した、「TAK TONE」を忠実に再現することができるギターアンプです。
本製品に搭載された機能を十分に活かし、演奏をお楽しみいただくため、本書をよくお読みになってからご使用ください。
また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管してくださいますようお願いいたします。

本製品は株式会社パーミリオンの監修・承認のもと、ヤマハ株式会社が製造・販売しています。

特長

- ヤマハ独自の「VCM Technology」を駆使したアンプモデリング機能を搭載したギターアンプ
- LINE 6製ギターワイヤレス トランスミッター Relay G10Tをギターに接続して、ワイヤレスで使用可能
- Bluetooth®接続により、スマートデバイスやコンピューター等から音楽再生や音色のエディットが可能
- 内蔵充電電池で電源アダプターなしでの使用が可能
- ヤマハ独自の技術である「エクステンデッドステレオ」により、本体サイズからは想像できない広がりのあるステレオ再生が可能
- ギターの音をコンピューターに入力するオーディオインターフェースとして機能
- Steinberg製のプロクオリティの音楽制作ソフト「CubaseAI」のダウンロードアクセスコードを同梱
- クロマチックオートチューナーを内蔵

* VCM Technology とは？

ヤマハ独自の技術である「VCM Technology」は、アナログ回路の特性を素子レベルでモデリングし忠実に再現することを可能にする技術です。

同梱品(お確かめください)

- 電源アダプター × 1
- クイックガイド × 1
- Safety Instructions Sheet × 1
- サービス拠点リスト × 1
- Cubase AI ダウンロードインフォメーション × 1

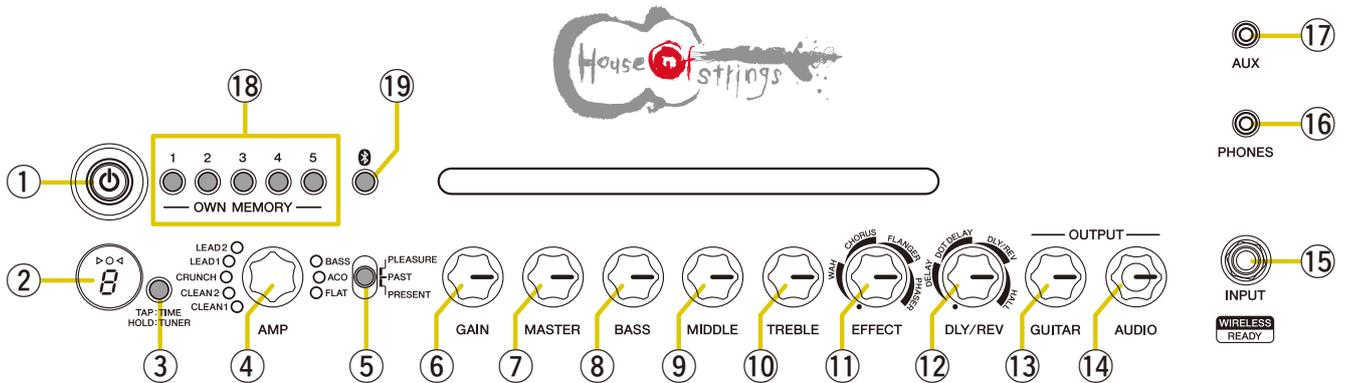
* 本書の説明では THR30II Wireless TAK MATSUMOTO を THR-II TM とします。

* 本書で説明する Line 6 製ギターワイヤレス トランスミッターは、Relay G10T と Relay G10TII が対象です (以下、Relay G10T と略)。

各部の名称と機能

コントロールパネル

THR30II Wireless TAK MATSUMOTO



① [](電源ボタン)/電源ボタンLED

本機の電源ボタンです。

電源がオンの時、電源ボタンLEDが点灯します。また、選ばれているアンプタイプのランプとスピーカーキャビネット内のパワーランプが点灯します。

② LEDディスプレイ

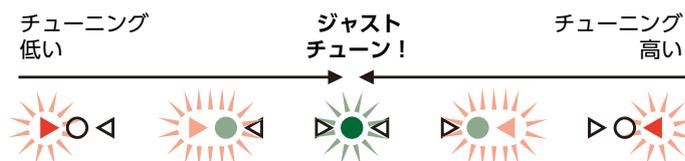
THR-II TMの各種設定や状態を表示します。

③ [TAP/TUNER]ボタン

■チューナー機能

1秒間押しすと、チューナー機能がオンになり▷◁が点灯します。

基準ピッチA4=440Hz専用のチューナーです。合わせたい音程がLEDディスプレイに表示されるようにギターをチューニングします。▷◁中央の○だけが点灯するようにチューニングします。



[TAP/TUNER]ボタンを押す(1秒以下)と、チューナー機能がオフになります。

* チューナー機能がオンの状態では、ギターの音は本体スピーカー、[PHONES]端子、[USB]端子に出力されません。[AUX]端子、[USB]端子、Bluetoothからの音は本体スピーカー、[PHONES]端子に出力されます。

■タップテンポ機能

[DLY/REV]つまみ⑫でDELAYまたはDLY/REVエフェクトを設定している場合は、このボタンを押す間隔(2回以上)でディレイ音のテンポを設定できます。

■エクステンデッド ステレオ設定

3秒以上押しすることで、エクステンデッド ステレオ*のオン/オフを切り替えます。

オン: LEDディスプレイ②の“#”消灯(初期設定)

オフ: LEDディスプレイ②の“#”点灯

* エクステンデッド ステレオ: ステレオ出力の広がり感をより強調する機能です。AUX、USB、Bluetoothからのステレオ音声にかかります。ギターのリバース音にもかかります。

* エクステンデッド ステレオの設定(オン/オフ)は、電源を切っても保持されます。

④ [AMP]つまみ

アンプタイプを選択します。選択されているアンプタイプのランプが点灯します。

- * 電源を入れると、前回選択したアンプタイプが自動で設定されます。

■音作りのヒント

各アンプタイプ(ACO、FLATを除く)では、[GAIN]つまみ⑥と[MASTER]つまみ⑦の組み合わせで幅広い音作りが可能です。適切に[GAIN]つまみを設定し[MASTER]つまみを上げることで、パワーアンプの歪みを再現できます。ギター全体の音量は[GUITAR]つまみ⑬で調整してください。

⑤ [AMP]スイッチ

アンプモードを選択します。アンプモードとアンプタイプを組み合わせ、アンプモデリングを選択します。選択されているアンプモードに応じて、[AMP]つまみ④のランプの色が変わります。

アンプタイプとアンプモードで選択できるアンプモデリングの詳細は、「アンプモデリング一覧」をご確認ください(19ページ)。

⑥ [GAIN]つまみ

ギターの音の歪み量を調整します。右方向に回すほど歪み量が増加します。

- * [AMP]つまみ④でACO を選択している場合は、エレクトリックアコースティックギターの前にマイクを立てて拾う音をモデリングした音と、ギターのピックアップが拾う音をブレンドする機能になります(最小でピックアップ音のみ、最大でマイク音のみ)。

⑦ [MASTER]つまみ

ギターの音量を調整します。右方向に回すほど音量が増加します。また、パワーアンプ部での歪みや低域の変化を再現します。

- * [AMP]つまみ④でBASS、ACO、FLAT を選択している場合は、音量のみを調整します。

⑧ [BASS]つまみ

ギターの音色を調整します。右方向に回すほど低域が強調されます。

⑨ [MIDDLE]つまみ

ギターの音色を調整します。右方向に回すほど中域が強調されます。

⑩ [TREBLE]つまみ

ギターの音色を調整します。右方向に回すほど高域が強調されます。

⑪ [EFFECT]つまみ

WAH (ワウ)、CHORUS(コーラス)、FLANGER(フランジャー)、PHASER(フェイザー)の4タイプのエフェクトを切り替えます。各エフェクトは右方向に回すほど深くかかります。

- * つまみを左いっぱいに戻すと、エフェクトはオフになります。

⑫ [DLY/REV]つまみ

DELAY(ディレイ)、DOT DELAY(付点8部ディレイ)、DLY/REV(ディレイ/プレートリバーブ)、HALL(ホールリバーブ)の4タイプのエフェクトを切り替えます。

各エフェクトは右方向に回すほど深くかかります。

- * つまみを左いっぱいに戻すと、エフェクトはオフになります。
- * DELAYまたはDLY/REVを選択している場合は、[TAP/TUNER]ボタン③を使ってディレイタイムを設定できます。

⑬ [GUITAR]つまみ

ギターの最終音量を調整します。

- * [USB]端子⑳へと出力される音量は、[GUITAR]つまみの設定に関わらず一定です。
- * [LINE OUT] [L] [R] 端子㉑へと出力される音量は、[GUITAR]つまみの設定に関わらず一定です。

⑭ [AUDIO]つまみ

[USB]端子⑳に接続したコンピューター、[AUX]端子㉒に接続したオーディオ機器、Bluetooth機能(10ページ)で接続したスマートデバイス等の音量を調整します。

⑮ [INPUT]端子

ギターを接続する端子です。

- * LINE 6製ギターワイヤレス トランスミッター Relay G10Tを接続すると、充電できます。
- * Relay G10Tを10秒以上接続すると、ワイヤレス接続のチャンネルを自動で設定できます。

⑯ [PHONES]端子

ヘッドホンを接続するステレオミニフォン端子です。

- * [PHONES]端子にプラグを差し込んだ状態では、THR-II TMのスピーカーから音は出ません。

⑰ [AUX]端子

オーディオ機器を接続するステレオミニフォン端子です。

- * [AUX]端子からの入力信号は、[USB]端子⑳には出力されません。

⑱ [OWN MEMORY] [1] [2] [3] [4] [5]ボタン

工場出荷時には各ボタンにTAK MATSUMOTO監修のプリセットセッティングが保存されています。プリセットセッティングの内容はこちらをご覧ください(21ページ)。

[OWN MEMORY]の各ボタンには、アンプ部の各コントローラー (GAIN、MASTER、BASS、MIDDLE、TREBLE、EFFECT、DLY/REV)のセッティングを保存できます。

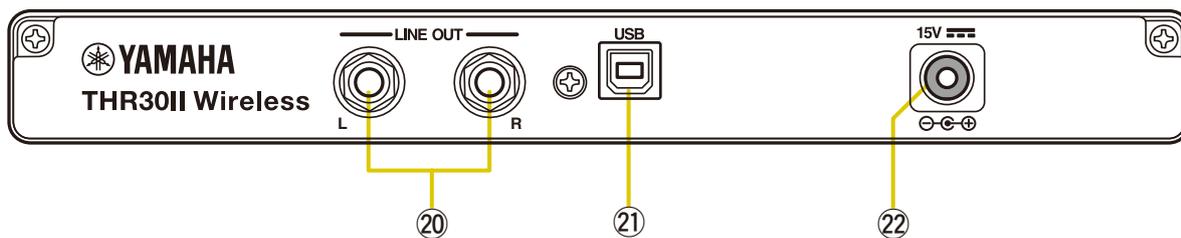
[OWN MEMORY]ボタン[1]から[5]のうち任意のボタンを2秒以上押して、セッティングを保存します。保存完了時には、LEDディスプレイ㉑にボタン番号が表示されます。セッティングは、保存したボタンを押して(2秒以下)呼び出します。

- * 新しいセッティングを保存すると、元のセッティングの内容は上書きされます。
TAK MATSUMOTO監修プリセットセッティングに上書きした場合は、初期化を実行するか、THR Remoteを使用することで何度でも復元することができます。

⑲ [Bluetooth]ボタン

Bluetoothの操作をします。3秒以上押すとペアリングモードになり、LEDディスプレイ㉑が緑色に点滅します。Bluetooth接続の詳細は、「スマートデバイスと接続して使う」をご確認ください(10ページ)。

リアパネル



②① [LINE OUT] [L] [R] 端子

ラインレベルのオーディオ信号を出力するインピーダンスバランス型の端子です。ライン入力を持つ外部機器を接続します。この端子は、ステレオまたはモノラルタイプのフォーンプラグを接続します。

②① [USB]端子

THR-II TMとコンピューターをUSBケーブルで接続する端子です。

②② [15V] DC IN端子

付属の電源アダプターを接続する端子です。

初期化について

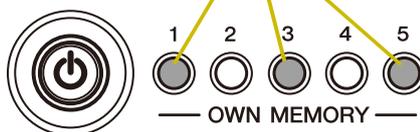
[OWN MEMORY]ボタン [1]、[3]、[5] を同時に押しながら電源を入れると、ユーザーメモリーの内容をすべてリセットすることができます。

ご注意

初期化を実行すると、ユーザーメモリーに登録した内容はすべて工場出荷時の内容に書き換えられます。

[1]、[3]、[5]を同時に押しながら、

電源を入れる。

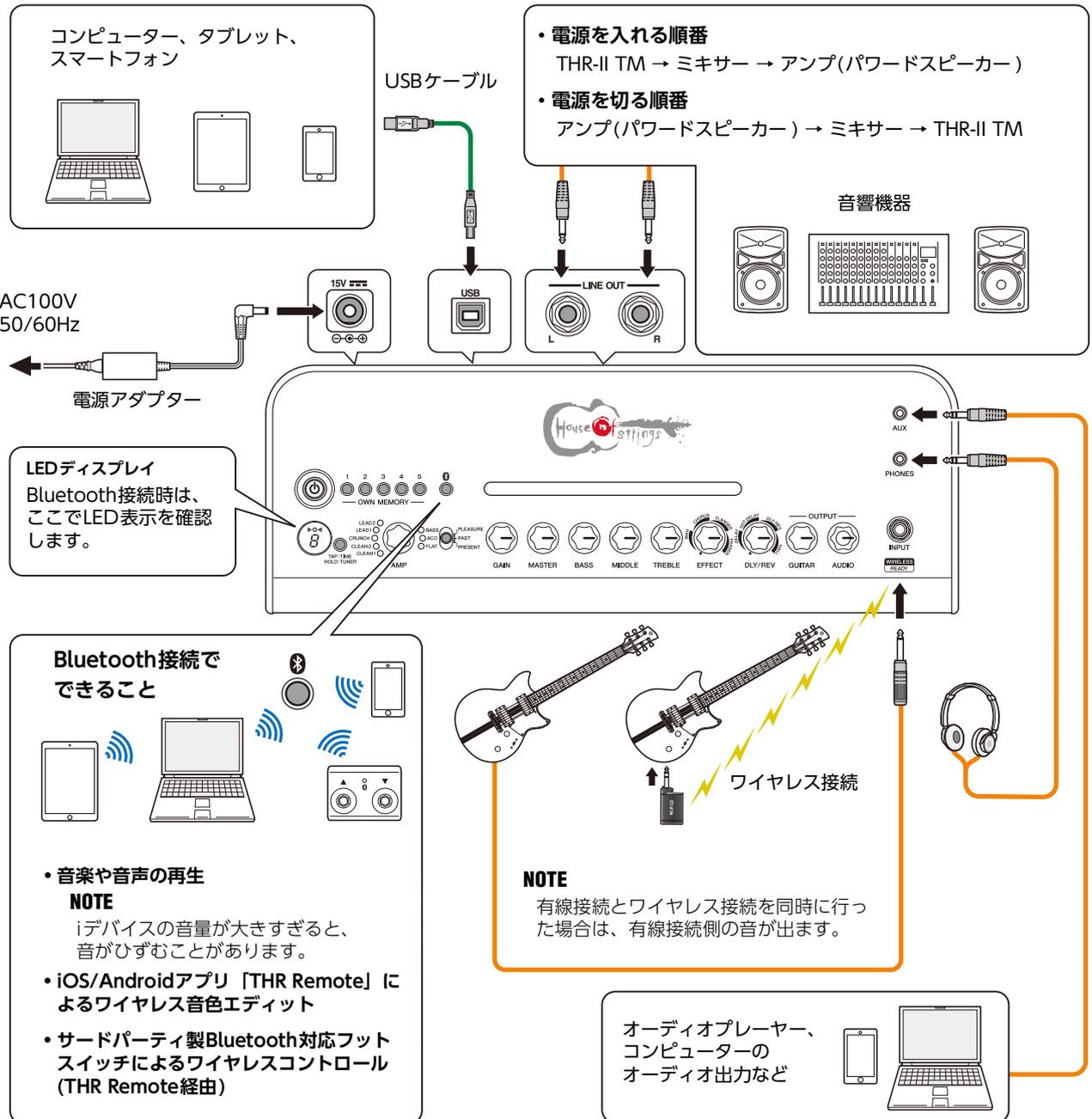


接続

THR-II TMは、各種ケーブルによる有線接続と、ワイヤレス接続を使用できます。

接続例

- 有線接続は、すべての機器の電源を切った状態で行ってください。
- 外部機器と接続する際は、接続端子の形状を確認し、必ず端子の規格に合ったプラグのケーブルを使い、確実に接続してください。



* イラストや図面はすべて操作説明のためのものです。最新の仕様はヤマハ公式ウェブサイトをご覧ください

USB端子ご使用時の注意

THR-II TMのUSB端子とコンピューターを接続するときは、コンピューターやTHR-II TMの停止によるデータの損失を防ぐため、次の注意事項を守ってください。停止したときは、再起動してください。

ご注意

- USBケーブルはABタイプで、3メートル未満のものをご使用ください。USB3.0ケーブルは、使用できません。
- USB端子とコンピューターを接続する前に、コンピューターの省電力(サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除してください。
- USBケーブルの抜き差しをする前に、コンピューターのすべてのアプリケーションを終了し、コンピューター側の出力コントロールを最少にしてください。
- USBケーブルの抜き差しをする前に、THR-II TMの[GUITAR]つまみと[AUDIO]つまみを最小にしてください。
- USBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行ってください。

電源

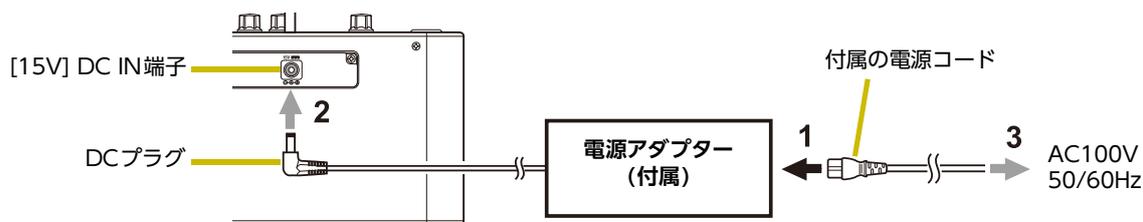
THR-II TMは、電源アダプターか内蔵充電電池を使えます。

* 内蔵充電電池で使う場合は、最大音量が小さくなります(16ページ)。

■電源アダプターを使用する場合

付属の電源コードを電源アダプターに接続します。付属の電源アダプターのDCプラグをTHR-II TMリアパネルの[15V] DC IN端子に接続します。ACプラグはAC100V 50/60Hzコンセントに接続します。

* 接続の前に、同梱のSafety Instructions Sheetを必ずお読みください。



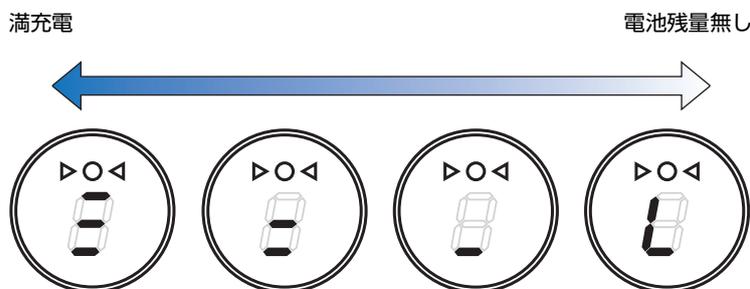
■電源の入れかたと切りかた

THR-II TM上面の[

* 接続の前に、同梱のSafety Instructions Sheetを必ずお読みください。

■バッテリー残量を確認する

THR-II TM上面の[



■内蔵充電電池の充電方法

付属の電源アダプターをTHR-II TMリアパネルの[15V] DC IN端子につなぐと、自動的に充電を開始します。充電中は電源ボタンLEDが緑色に点灯します。

* 電源ボタンLEDの表示の意味は、「電源ボタンLED状態一覧」をご確認ください(17ページ)。

ご注意

- 温度が非常に高いところや低いところでは、充電ができない場合があります。
- 機能を維持するため、半年に一度は充電するようにしてください。

■Relay G10Tを充電する

Relay G10T*1をTHR-II TM上面の[INPUT]端子に接続すると、自動的に充電が開始*2されます。Relay G10TをTHR-II TMの[INPUT]端子から一度抜いた後、充電を再開したい場合は、2秒以上たってからTHR-II TMの[INPUT]端子に接続します。

*1 G10TのLEDの表示の意味はG10Tのマニュアルをご確認ください。

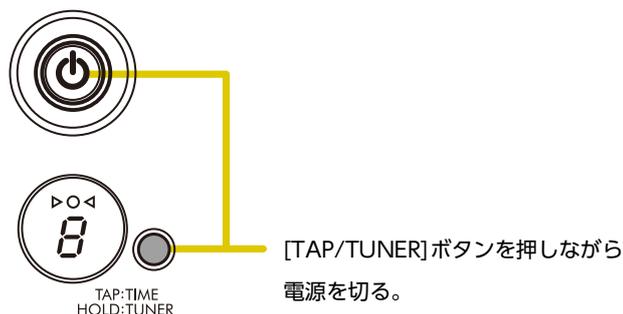
*2 THR-II TMに付属の電源アダプターが接続されていない場合は、Relay G10Tの充電は開始されません。

ご注意

- 充電後はRelay G10TをTHR-II TMから抜いてください。
- THR-II TMの電源がオフで、電源アダプターが接続されているときにRelay G10Tを接続すると、Relay G10Tは充電されます。Relay G10Tの充電が完了すると、THR-II TMはRelay G10Tへの給電を停止する初期設定になっています。そのため、THR-II TMにRelay G10Tを接続したままにすると、Relay G10Tのバッテリーが放電される場合があります。Relay G10Tのバッテリーを放電しないためには、THR-II TMのECO設定をオフにします。

●Relay G10TのECO設定を変更する*1 *2

1. THR-II TMの電源を入れます。
2. [TAP/TUNER]ボタンを押しながら、THR-II TMの電源を切ります*3。



*1 THR RemoteでもTHR-II TMのECO設定を変更できます。

*2 ECOオンとECOオフは切替式です。設定を切り替えたい場合は、手順1～2を再度行います。

*3 ECOオンからECOオフに切り替えた場合は、次回Relay G10Tを充電したときにLEDディスプレイに“C”と表示されます。

ギターとワイヤレス接続する

THR-II TMは、LINE 6製ギターワイヤレス トランスミッター Relay G10Tと、ワイヤレス接続ができます。また、Relay G10Tを10秒以上、THR-II TM上面の[INPUT]端子に接続することで、最適なチャンネルが自動的に設定されます。ワイヤレス接続についての詳細は、Relay G10Tの取扱説明書をご確認ください。

スマートデバイスと接続して使う

THR-II TMは、スマートデバイスと接続することで、次のことができます。

- Bluetoothでオーディオを再生する
- スマートデバイスのアプリケーションでエフェクトや音色を編集する

Bluetoothでオーディオを再生する

Bluetoothでスマートデバイスのオーディオを再生するには、THR-II TMをペアリングモードにした状態でスマートデバイスのBluetooth設定をします。

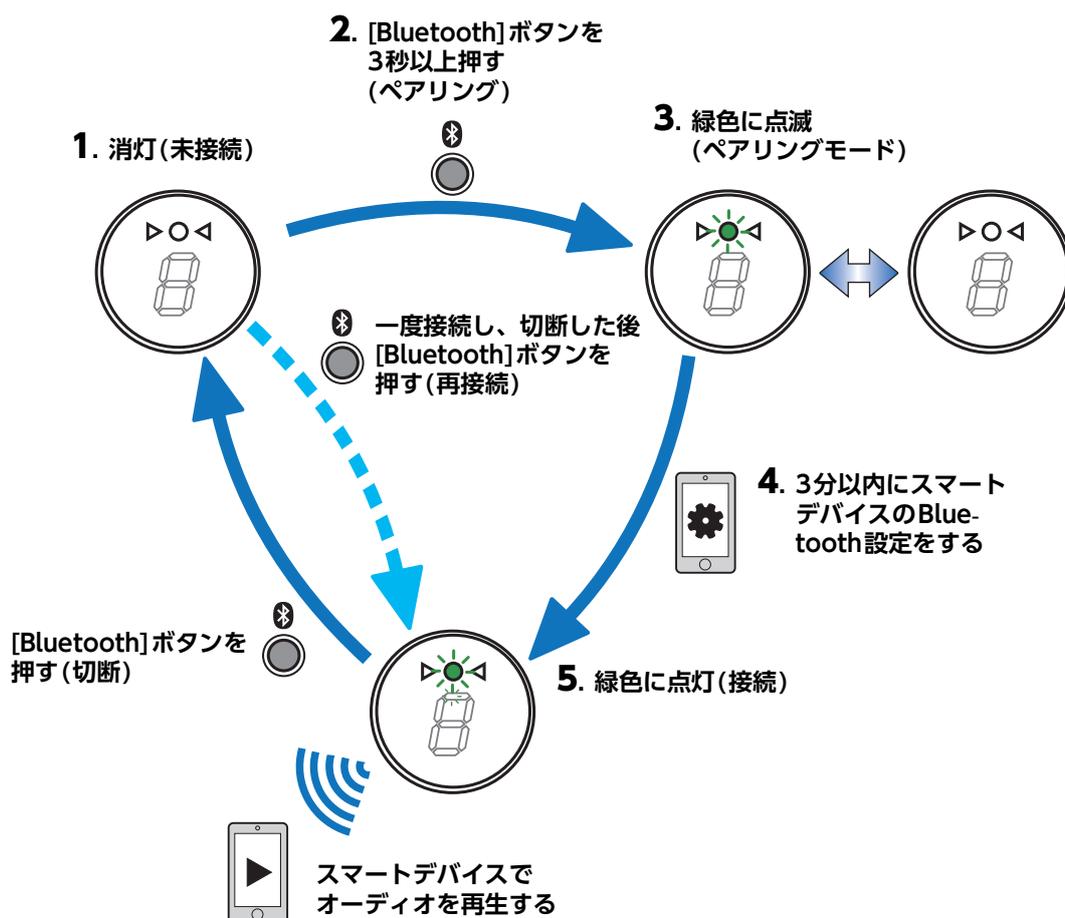
●THR-II TMをペアリングモードにする

1. LEDディスプレイの上部にある○が消灯していること(未接続)を確認します。
2. LEDディスプレイが消灯している状態から、THR-II TM上面の[Bluetooth]ボタンを3秒以上押します。
3. LEDディスプレイが緑色に点滅していること(ペアリングモード)を確認します。

●スマートデバイスのBluetooth設定をする

4. ペアリングモードになってから3分以内にスマートデバイスのBluetooth設定を完了します。
 - * スマートデバイスのBluetooth設定については、スマートデバイスの取扱説明書をご確認ください。
5. LEDディスプレイが緑色に点灯していること(接続)を確認します。

最後にスマートデバイスから音声を再生し、THR-II TMから音が出ることを確認します。



NOTE

- THR-II TMの電源を切り、次に電源を入れた時に、Bluetooth接続した記録がTHR-II TMとスマートデバイスの両方に残っている場合は、自動的に再接続します。

■スマートデバイス上でエフェクトや音色を編集する

スマートデバイス上でエフェクトや音色を編集するには、スマートデバイスに「THR Remote」をインストールします。

●THR Remote のインストール (Android、iOS)

1. スマートデバイス上でアプリケーションの配布サービスにアクセスします。
Android搭載機器の場合：Google Play*
iOS搭載機器の場合：App Store
2. 「THR Remote」を検索します。
3. 表示される画面の指示に沿ってTHR Remote をダウンロード、インストールします。

●Bluetooth MIDIの設定

1. THR Remoteを起動します。
2. 画面上のBluetoothアイコンをタッチします。
3. 表示される画面の指示に沿ってLE_THR11と接続します。

●THR Remoteを起動する

THR Remote をスマートデバイス上で起動します。

THR Remote上で作成したセッティングは、THR-II TM 本体の[OWN MEMORY]ボタンを3秒以上押すことでTHR-II TM本体のメモリーに保存できます(5ページ)。

- 一般的なAndroid搭載機器の接続方法は「スマートデバイス接続マニュアル Android用」を、一般的なiOS搭載機器の接続方法は「iPhone/iPad接続マニュアル」をご活用ください。

<https://jp.yamaha.com/support/>

* Google Play および Google Play ロゴは Google LLC の商標です。

コンピューターと接続して使う

THR-II TMは、コンピューターとUSBで接続することで、次のことができます。

- コンピューター上で再生したオーディオをTHR-II TMで鳴らす
- Cubase AIを使って録音をする
- コンピューター上でエフェクトや音色を編集する

■コンピューター上で再生したオーディオをTHR-II TMで鳴らす

●設定、操作

コンピューターのオーディオ出力先を、「THR30II WIRELESS」に設定します。

Windows の場合

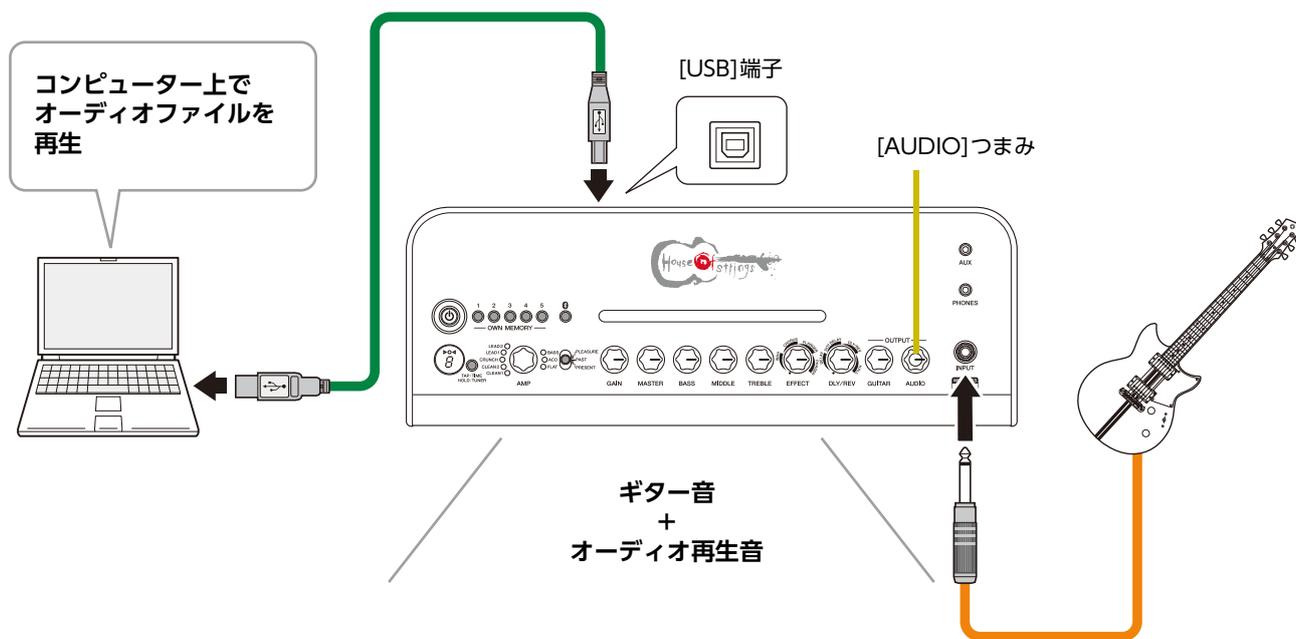
コントロールパネル→サウンド→【サウンド】タブ

Macintosh の場合

システム環境設定→サウンド→【出力】タブ

下図のようにコンピューターのUSB 端子とTHR-II TMの[USB]端子を、USB ケーブルで接続します。

【USB 接続】



コンピューター上で再生したオーディオをTHR-II TMで鳴らすことができ、それに合わせてギターを弾くことができます。コンピューター上で再生したオーディオの音量は、[AUDIO]つまみで調整できます。

■Cubase AIを使って録音する

●Cubase AI のインストール

THR-II TMには、 Steinberg製音楽編集ソフトウェア「Cubase AI」のダウンロードアクセスコードが同梱されています。Cubase AIを使うと、THR-II TMに接続したギターの録音や、曲の編集ができます。

【Cubase AI の動作環境】

最新の情報は、以下のSteinbergのウェブサイトをご確認ください。

<http://japan.steinberg.net/>

【インストールの手順】

Cubase AIのインストールにはインターネット接続環境が必要です。同梱の「Cubase AI ダウンロードインフォメーション」の内容にそって、ソフトウェアをダウンロード、インストール、アクティベーションしてください。

●THR-II TMとの設定

コンピューターのUSB 端子とTHR-II TMの[USB]端子を、USB ケーブルで接続します。(12ページ：図 USB接続)

* 操作方法については、Cubase AIのヘルプ(下図参照)をご確認ください。



■コンピューター上でエフェクトや音色を編集する

●THR Remote のインストール (Windows、Mac)

1. 以下のウェブサイト から、「THR Remote」をダウンロードし、展開します。

<https://jp.yamaha.com/support/>

* 動作環境については、上記ウェブサイトをご確認ください。

* THR Remoteは、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。詳細および最新情報については、上記ウェブサイトをご確認ください。

2. THR Remoteをコンピューターにインストールします。

●インストール後の設定、操作

コンピューターのUSB 端子とTHR-II TMの[USB]端子を、USB ケーブルで接続します。(12ページ：図 USB接続)

THR Remote上で作成したセッティングは、THR-II TM 本体の[OWN MEMORY]ボタンを3秒以上押すことでTHR-II TM 本体のメモリーに保存できます(5ページ)。

困ったときは？

電源が入らない

- 電源アダプターを正しく接続してください。(→ [8ページ](#))
- 電源アダプターを使用していない場合は、THR-II TM本体の充電ができていることを確認してください。(→ [9ページ](#))

音が出ない

ケーブル接続でギターの音が出ない

- [INPUT]端子にギターを正しく接続してください(→ [7ページ](#))。
- ギターのボリュームが上がっていることを確認してください。
- [GAIN]つまみ、[MASTER]つまみ、[GUITAR]つまみが最小ではないことを確認してください(→ [4、4ページ](#))。
- [AMP]つまみ でCLEAN を選択した場合は、[BASS]つまみ、[MIDDLE]つまみ、[TREBLE]つまみがすべて最小ではないことを確認してください(→ [4ページ](#))。
- THR-II TM本体のスピーカーから音を出す場合は、[PHONES]端子にヘッドホンを接続しないでください(→ [5ページ](#))。
- THR RemoteでCOMPRESSORのLevelを0に設定しないでください(→ [11、13ページ](#))。
- チューナー機能をオフにしてください(→ [3ページ](#))。
- ケーブルが断線していないか確認してください。

ワイヤレス接続でギターの音が出ない

- Relay G10Tを使用してください。Relay G10T以外のギターワイヤレス トランスミッターは使用できません。
- Relay G10Tを10秒以上THR-II TM上面のINPUT端子に接続してください。最適なチャンネルが自動的に設定されます。
- ギターのボリュームが上がっているか確認してください。
- チューナー機能をオフにしてください(→ [3ページ](#))。

Bluetooth接続でオーディオの音が出ない

- LEDディスプレイの表示状態を確認してください。消灯、もしくは緑色に点滅状態では接続できていません(→ [17ページ](#))。
- スマートデバイスのBluetooth設定がオンになっている場合は、一度オフにしてから「Bluetoothでオーディオを再生する」の設定をしてください(→ [10ページ](#))。
- スマートデバイスのBluetooth設定画面における、THR-II TMの登録を一度削除してから「Bluetoothでオーディオを再生する」の設定をしてください(→ [10ページ](#))。
- スマートデバイスとTHR-II TMを近づけてください。
- THR-II TMの電源を入れなおしてください。(→ [8ページ](#))
- スマートデバイスを再起動してください。
 - * スマートデバイスのBluetooth設定については、スマートデバイスの取扱説明書をご確認ください。
- 他のWi-Fi機器やBluetooth機器の接続を切ってください。近くにある他のWi-Fi機器やBluetooth機器の影響で、接続が切れることがあります。

USB接続でコンピューターの音が出ない

- USBケーブルを正しく接続してください(→ [12ページ](#))。
- オーディオ出力先の設定を確認してください(→ [12ページ](#))。
- コンピューターもしくはアプリケーションの出力設定が、ミュートまたは消音ではないことを確認してください。
- [AUDIO]つまみが最小ではないことを確認してください(→ [4ページ](#))。
- USBケーブルが断線していないか確認してください。

AUX接続で外部機器の音が出ない

- 外部機器とのケーブルを正しく接続してください(→ [7ページ](#))。
- 外部機器のボリュームが上がっていることを確認してください。
- [AUDIO]つまみが最小ではないことを確認してください(→ [4ページ](#))。
- ケーブルが断線していないか確認してください。

その他

タップテンポが設定できない

- DELAY、DOT DELAY、DLY/REVのいずれかを選択してください。HALLにはタップテンポは設定できません(→ [3ページ](#))。

LED ディスプレイに#が表示される

- エクステンデッド ステレオ設定がオフになっている場合は#が表示されます(→ [3ページ](#))。

THR-II TM本体のバッテリーの充電ができない

- 演奏や音楽の再生をお控えください。内蔵充電機の温度が45℃を超えると、充電はできません。

Relay G10Tの充電ができない

- THR-II TMのINPUT端子に接続してください。THR-II TMの内蔵充電機が適温になるまで、室温に置き、使用をお控えください。十分な時間が経っても充電ができない場合は、内蔵充電機がエラーをおこなっている可能性があります。ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください(→ [17ページ](#))。

音量が小さい

- THR-II TMの内蔵充電機が適温になるまで、室温に置き、使用をお控えください。安全上の観点から、内蔵充電機の温度が上がると音量を制限する仕様になっています。

充電がすぐにきれる

- THR-II TMの内蔵充電機が寿命をむかえている可能性があります。ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。
 - 機能を維持するため、半年に一度は充電してください。
 - 充電機には寿命があります。使用回数や時間の経過によって容量が少しずつ低下します。
 - 充電機の寿命は保管方法、使用状況や環境によって異なります。

仕様

技術仕様

デジタル部

搭載アンプシミュレーション

CLEAN1、CLEAN2、CRUNCH、LEAD1、LEAD2、BASS、ACO*、FLAT
それぞれのアンプタイプにPRESENT、PAST、PLEASURE
のアンプモードあり

* マイクシミュレーション

搭載エフェクト

- WAH、CHORUS、FLANGER、PHASER
- DELAY、DOT DELAY、DLY/REV、HALL
THR Remoteでは、上記に加えてDETUNE、HARMONYの2種類のエフェクトと、ROOM、SPRINGの2種類のリバーブを選択することができます。
- COMPRESSOR*
- NOISE GATE*

* THR Remoteで選択可能です。

クロマチックオートチューナー内蔵

つまみ/ スイッチ

AMP、GAIN、MASTER、BASS、MIDDLE、TREBLE、EFFECT、DLY/REV、GUITAR OUTPUT、AUDIO OUTPUT、OWN MEMORY ボタン × 5、TAP/TUNER ボタン、アンプモードスイッチ、Bluetooth ボタン

ディスプレイ

LED × 1

接続端子

INPUT(標準フォーンモノジャック、アンバランス)
LINE OUT(標準フォーンジャック、インピーダンス
バランス)
PHONES(ステレオミニジャック)
AUX(ステレオミニジャック)
USB TYPE B
DC IN (15V)

A/D コンバーター

24 ビット + 3 ビットフローティング

D/A コンバーター

24 ビット

サンプリング周波数

48 kHz

メモリー数

ユーザーメモリー : 5

入力レベル

GUITAR IN : -10 dBu
AUX IN : -10 dBu

PHONES出力レベル

10 mW

定格出力

30 W (15 W + 15 W)

内蔵充電電池駆動時の最大出力

15 W (7.5W + 7.5W)

電源

電源アダプターまたは内蔵充電電池で駆動

電源アダプター (YNT345-1530)

内蔵充電電池

連続駆動時間* : 約5 時間

* 使用状況により異なる

消費電力

22 W

寸法(W x H x D)

420 x 195 x 155 mm

質量

4.3 kg

付属品

- 電源アダプター (YNT345-1530) × 1
- クイックガイド × 1
- Safety Instructions sheet × 1
- サービス拠点リスト × 1
- Cubase AI ダウンロードインフォメーション × 1

Bluetooth

Bluetoothバージョン : Bluetooth Ver. 4.2

対応プロファイル : A2DP

対応コーデック : SBC

無線出力: Bluetooth class 2

最大通信距離 : 約10 m (障害物がないこと)

* 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。
最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロード
できます。

電源ボタンLED状態一覧

■電源アダプター未使用時

赤



は電源オン

消灯



は電源オフ

■電源アダプター使用時

緑



は充電中

赤



は満充電、かつ電源オン

消灯



は満充電、かつ電源オフ

充電エラー表示

点滅(緑↔赤)

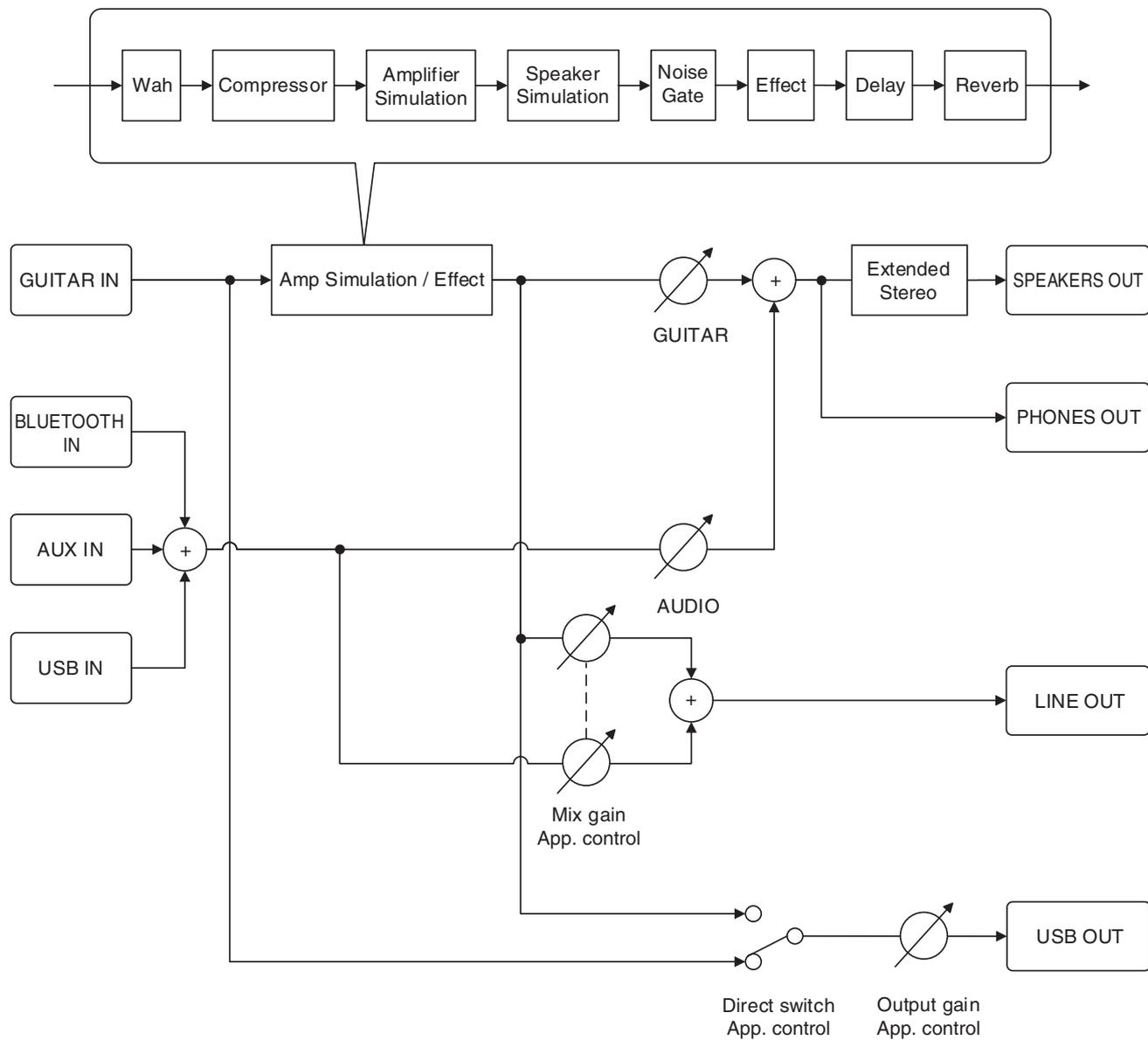
電源オンの状態で  ↔  は、充電エラー

点滅(緑↔消灯)

電源オフの状態で  ↔  は、充電エラー

内蔵充電池が充電エラーをおこした場合は、すぐにTHR-II TMの電源をオフにし、電源アダプターを抜き、ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

シグナルフローチャート



アンプモデリング一覧

アンプモード	アンプタイプ	解説
Present	Clean 1	メインのクリーンとして使用されているアンプです。上質なレスポンスを持つクリーントーンが特徴で、アルペジオに適しています。クセがなくバランスの良いサウンドが得られます。
	Clean 2	Present/Clean1タイプのブーストバージョンです。豊かな倍音を持ち、ソロに適した深みのあるクリーントーンから、伸びやかなクランチサウンドまで幅広くカバーするサウンドです。
	Crunch	「ダンブル」サウンドのアンプを、真空管12AX7をドライブさせたブースターでプッシュしたアンプです。歪むか歪まないかのトーンが上質で、瑞々しいクリーンから荒々しいテキサス・ブルースまで奏でる幅広い音が特徴です。
	Lead 1	メインの歪みとして使用されているアンプです。かつて使用していたアンプをベースに、より滑らかな歪みになるようカスタマイズされています。切れ味の良いハイゲインサウンドがバッキングに最適です。
	Lead 2	Present/Lead1のブーストバージョンです。ソロやリードトーンに適したシルキーな中高域と、どこまでも伸びてゆくようなサスティンを得られるアンプです。Fixed Wahと組み合わせる事で唯一無二のサウンドへと変化します。
	Bass	じっくり歪み始める真空管の醍醐味と、ウッドキャビネットの響きを感じられるビンテージトーンのアンプです。
	Acoustic	アコースティックギターの音を定番の高級コンデンサーマイクで拾ったようなサウンドを再現しています。自然でクリアな音色が特徴です。
	Flat	アンプやスピーカーをモデリングしていないナチュラルトーンです。ギター以外の楽器をTHRに接続するのに適しています。
Past	Clean 1	主に90年代の楽曲で使用されていたサウンドのアンプです。カッティングプレイに最適なクリーンでコンプレッション感の強いラックマウントタイプのサウンドを、KT88のパワー管で増幅しています。コーラスエフェクトと組み合わせることで、より煌びやかなサウンドが得られます。
	Clean 2	主に2000年代の楽曲で使用されていたアンプです。複数のスイッチにより多彩なサウンドを生み出すLA製3chブティックアンプを改造した、幅の広いゲイン量を持つクラシックなオーバードライブサウンドが特徴です。
	Crunch	Past/Clean2のアンプのレッドチャンネルです。エッジの立った歪みになるようチューンアップされています。ソロやリードサウンドでも他に負ける事の無い強烈な中域の押し出しを持つ、ハードなオーバードライブサウンドが特徴です。
	Lead 1	ハードなギターサウンドの楽曲で使用されていたアンプです。タイトな低域と鋭いハイゲインメタルサウンドが特徴で、きめ細かく均一な歪みと独特の抜けの良さが、粒の揃ったリードサウンドを生み出します。
	Lead 2	主に90年代の楽曲で使用されていたアンプです。ラックマウントタイプのディスティーションのサウンドをKT88のパワー管で増幅しています。豊かなサスティンと中域に特徴のある独特のオーバードライブサウンドです。
	Bass	入力段をドライブすることでファズのようなオーバードライブに変化していく豊かなモダントーンのアンプです。
	Acoustic	アコースティックギターの音をチューブマイクで拾ったようなサウンドを再現します。豊かなミッドレンジが特徴です。
	Flat	アンプやスピーカーをモデリングしていないナチュラルトーンです。低域を少しだけ強調しています。ギター以外の楽器をTHRに接続するのに適しています。

アンプモード	アンプタイプ	解説
Pleasure	Clean 1	煌びやかな倍音感を持つプリアンプと、ふくよかな中低域を実現する4本の6L6パワー管を組み合わせた、ピギーバックスタイルのアメリカンアンプです。
	Clean 2	EL34管をパワーアンプに置いたローゲインアンプです。マスターボリュームを上げていくにつれてクラシックなブリティッシュオーバードライブへと変化します。
	Crunch	12AX7プリ管とEL34管のパワー管を組み合わせたワイルドで強烈な歪みが自慢のブリティッシュスタックアンプのサウンドです。80年代のハードロック/メタルサウンドを求める方におすすめです。
	Lead 1	パワフルでモダンなディストーションが特徴のハイゲインプリアンプを使ったアンプです。つまみの12時以降は注意深く回しましょう。
	Lead 2	「ブラウン」サウンドを追求した12AX7プリ管と6L6パワー管を組み合わせたアンプのブーストバージョンです。より多くのゲインと、粒の揃ったリードサウンドを求める方に最適です。
	Bass	レスポンス良く歪み始めるビンテージ音色が特徴のアンプです。
	Acoustic	アコースティックギターの音をダイナミックマイクで拾ったようなサウンドを再現します。芯があって引き締まった音が特徴です。
	Flat	アンプやスピーカーをモデリングしていないナチュラルトーンです。中域を少しだけ抑えています。ギター以外の楽器をTHRに接続するのに適しています。

NOTE

- アンプタイプの名称は、アンプモードPresent選択時の各アンプタイプを元にしてしています。そのためPast/Pleasure選択時のClean 2とCrunchではアンプタイプと実際の音色イメージが異なります。

TAK MATSUMOTO 監修 プリセットセッティング一覧

プリセット	解説
Preset 1 [Solo]	深い歪みと奥行きのあるディレイが特徴のプリセットです。ソロやリードプレイに適した抜けの良ささと太さを持ち合わせています。Fixed Wahとの相性も良く、リードサウンドの存在感を後押しします。
Preset 2 [Backing]	主にバックアップの時に使用されているサウンドをイメージしたプリセットです。リアピックアップと相性が良く、切れ味のいいハイゲインサウンドが力強く楽曲を支えます。
Preset 3 [Crunch]	歯切れの良いクランチサウンドのプリセットです。ピッキングニュアンスを出しやすく、コードプレイからソロまで自在に奏できます。
Preset 4 [Clean]	広がりのあるクリーンサウンドのプリセットです。ディレイによって奥行きが増した太く甘いサウンドは、あらゆる場面でのクリーントーンを用いたソロに適しています。
Preset 5 [Arpeggio]	清涼感のある澄んだコーラスのかかったクリーントーンのプリセットです。主にミックスポジションでのアルペジオで使用されており、煌びやかな高音が特徴です。